

東久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(平成28年3月版)【概要版】

～ 都心に近いのに、川遊びの声が響くまち 「住み心地のよい快適空間 東久留米」 を目指して ～

■東久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

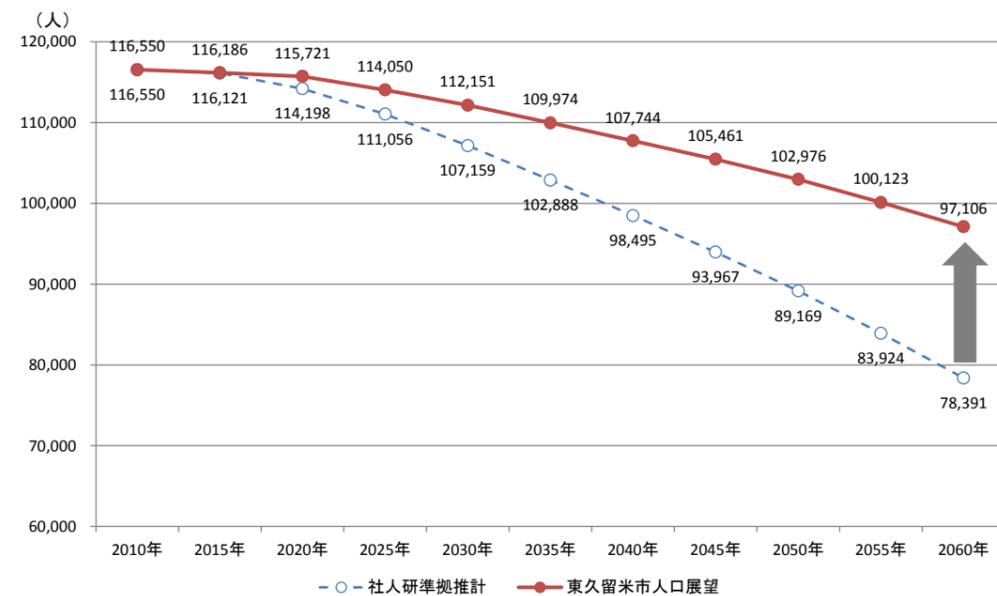
少子高齢化に伴う人口減少は、我が国全体の深刻な問題となっており、本市においても、今後も現状のままでいくと、急激に人口が減少することが予想されています。国は、平成26年末に策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指しています。

市では、地域の特性と実情に合わせ、地域の魅力を高め、将来にわたって活力ある社会を維持することを目指し、本市における人口の現状と将来の展望を明らかにした「東久留米市人口ビジョン」を策定するとともに、この人口ビジョンを基に、まち・ひと・しごと創生に関する今後5か年の目標や基本的な方向性、具体的な施策を示す「東久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

■東久留米市人口ビジョン

東久留米市の人口推計は、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）準拠推計によると、2015年以降減少を続け、2040年には10万人を下回り、2060年には78,391人にまで減少するとされています。

本市では、**2050年代まで人口10万人を維持する**ことを目標としました。



自然増：合計特殊出生率を2015年では1.30とし、5年後の2020年から2025年で1.60、2030年以降は1.80を維持。
社会増：通勤・通学者にとって利便性の高い場所ということを考慮しながらも、2060年までに、これまでの移動数（社人研準拠推計）に0歳代から40歳代の若者・子育て世代3,600人の転入者を追加していくことを目指す。

■東久留米市の特色・強み・課題

【東久留米市の特色・強み】

① 生活拠点としての都市機能が充実したまち

- 市内各地区に大規模団地が建設され、それに合わせインフラ整備が行われる形で、ベッドタウンとして発展してきました。
- 西武鉄道と他社線の相互乗り入れなどにより、新宿駅、渋谷駅、六本木駅、有楽町駅、横浜駅などへのアクセスが大変便利で、通勤、通学、レジャーへの利便性が高いといえます。
- 多くの路線バスが運行されており、多くの商業施設が展開されているなど、生活拠点としての都市機能が整ってきています。

② 自然との調和、融和が図られた質の高い住環境が形成されたまち

- 東京で唯一、平成の名水百選に選ばれた落合川と南沢湧水群（平成20年6月）など、多くの豊かな自然が残されています。
- 自然の川の中で遊ぶ子どもたちの姿や、川沿いに整備された遊歩道で散歩やジョギングを楽しむ老若男女の姿が多く見られ、地元の農地で生産された新鮮な野菜も味わうことができるなど、都市の生活と自然が調和しています。

【課題】

- 少子高齢化等の理由により市の財政は厳しい状況です。
- 保育需要に対し供給が追いつかず、待機児童の解消が求められています。
- 既存商店街の売上減少や空き店舗の発生が見受けられます。
- 基幹的な道路の整備が遅れており、整備が求められています。
- 人口急増に合わせて整備された公共施設などの社会インフラの老朽化が進んでいます。

■基本目標および施策の一覧

基本目標と数値目標		具体的な事業
基本目標に対する施策		
1. 住みやすさを感じるまちをつくる		【今後も市に住み続けたい：平成26年度83.4%→平成31年度90%】
1-1. 公共施設の維持管理		①既存ストックのマネジメント推進
1-2. インフラ整備		②都市計画道路の整備 ③橋梁長寿命化修繕計画 ④公園施設の長寿命化 ⑤自転車等駐車場の恒久的な確保 ⑥上の原地区における運動施設整備事業
1-3. 防災力・防犯力の向上		⑦防犯灯のLED化に伴う維持管理事業 ⑧通学路防犯カメラ設置事業 ⑨防災備蓄食料の充実 ⑩防災マップ全戸配布事業 ⑪防災行政無線デジタル化工事
2. 子どもの未来と文化をはぐくむまちをつくる		【平成31年の合計特殊出生率：1.60】
2-1. 妊娠・出産期からの支援		⑫プレ・パパマクラスの推進 ⑬子育て応援メール配信事業 ⑭乳児全戸訪問事業
2-2. 乳幼児期に対する支援		⑮待機児童解消に向けた取組事業 ⑯幼児期の教育・保育の提供体制の確保 ⑰延長保育事業 ⑱一時預かり事業（保育所分） ⑲利用者支援事業 ⑳病児保育事業 ㉑子育て短期支援事業
2-3. 児童期に対する支援		㉒地域子育て支援拠点事業 ㉓放課後児童健全育成事業 ㉔旧市立大道幼稚園跡を活用した新児童館の開館 ㉕移動児童館事業 ㉖児童の居場所づくり事業 ㉗放課後子供教室推進事業 ㉘国語力ステップアップ学習事業 ㉙子供土曜塾
3. にぎわいと活力あふれるまちをつくる		【にぎわいと魅力ある商店があると感じている：平成26年度24.3%→平成31年度36.5%】
3-1. 地域の活力向上		⑳工業広域交流事業 ㉑地元産業の安定化や活力の向上等 ㉒地域の女性の起業のためのネットワーク、支援スキームの構築事業
3-2. 健康と地域資源の好循環		㉓地域産業推進協議会イベント事業 ㉔わくわく健康プラン 東くるめ健康マイレージ ㉕健康増進・サポート事業
3-3. 東久留米の魅力向上		㉖上の原地区における新たな企業誘導 ㉗東久留米ブランド認定事業 ㉘観光資源活用促進事業

■東久留米チャレンジプラン

基本目標に合わせて抽出した具体的な施策・事業の中で、東久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の3つの基本目標に密接に関係し、まちの将来をつくる柱となる施策・事業を東久留米チャレンジプランとして位置付け、その取り組みを特に推進していきます。

<p>(1) 上の原地区のまちづくり</p> <p>市の北東部に位置する上の原地区において、UR都市機構による団地建替え並びに国家公務員宿舎の廃止に伴い発生する10ヘクタールを超える余剰地を活用し、新たな土地利用に向けた取り組みを進めます。</p>  <p>「上の原地区」は、UR都市機構による団地建替え並びに国家公務員宿舎の廃止に伴い発生する10ヘクタールを超える余剰地を活用し、新たな土地利用に向けた取り組みを進めます。</p> <p>《コンセプト》 自然と調和した“複合多機能都市”をめざして</p> <p>【連携施策】 ②都市計画道路の整備、⑥上の原地区における運動施設整備事業、⑩上の原地区における新たな企業誘導</p>	<p>(2) 旧市立大道幼稚園跡を活用した新児童館の開館</p> <p>閉園となった市立幼稚園である「旧大道幼稚園跡」を活用し、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を支援し、乳幼児から中高生までが利用できる施設とする考えのもと、平成30年4月開館を目指して新しい児童館の設置に取り組みます。</p>  <p>【連携施策】 ①既存ストックのマネジメント事業、②地域子育て支援拠点事業、③放課後児童健全育成事業、④旧市立大道幼稚園跡を活用した新児童館の開館、⑤移動児童館事業、⑥児童の居場所づくり事業</p>	<p>(3) 健康増進・サポート事業</p> <p>国における「経済財政運営と改革の基本方針2015～経済再生なくして財政健全化なし～」(骨太方針)に示され、成長戦略に位置付けられた健康増進・サポート事業については、健康管理とその受診状況に応じた健康ポイント制度の導入を図ります。</p>  <p>【連携施策】 ③地域産業推進協議会イベント事業、④わくわく健康プラン 東くるめ健康マイレージ、⑤健康増進・サポート事業</p>
---	---	---